

森林施業の推進や非常時の迂回路として
森林基幹道 高千穂・日之影線「乙女大橋」開通



【森林基幹道
高千穂・日之影線】
・全体計画延長 41.1 km
(高千穂町側 29.0 km
日之影町側 12.1 km)
・計画工事期間
平成 28 年度
～令和 17 年度予定
《乙女大橋》
・平成 30 年度着工
・延長 114.0m
・幅員 5.0m
・高さ 32.3m



10月23日、森林基幹道高千穂・日之影線「乙女大橋」の開通式が行われました。

高千穂・日之影線整備促進期成同盟会坂本弘明会長は「尾狩地区では、平成17年9月の台風14号で孤立状態となり、1年ほど迂回路生活を余儀なくされたことで時間的・経済的に大打撃を受けた。また、本年9月の台風14号では、1週間ほど停電はしたものの、乙女大橋を迂回路として利用できたことで、経済活動への影響が少なく済んだ。この道は、災害時の避難路や迂回路、救援物資搬送など多様に活用され、沿線地域の活性化につながることが期待できる」とあいさつしました。

地域を支え助け合う
JA高千穂地区より寄附

10月19日、JA高千穂地区(佐藤友則代表理事組合長)が、町社会福祉協議会(興杢久利会長)が行うフードバンク事業「地域・こども食堂まんなまるカフェ」に対し、寄附を行いました。

佐藤組合長は「JAが行う地域貢献活動の一環として協力」。興杢会長は「コロナで休止中であつたが、今年度より再開。とてもありがたく、有効に活用させていただくと感謝の言葉を述べました」。



心よりお見舞い
金光教よりお見舞金

10月14日、金光教南九州教務センター(菊川信生所長・熊本市)が、9月の台風14号による被災に対して、お見舞金を手渡しに町長室を訪れました。

町長は「早々にお見舞いいただき感謝します。観光地である高千穂峡の遊歩道の手すりが見えるなど、町内で約700箇所が被災。被害額も60億円を超えている。一日も早い復旧を」と被災状況の説明とお礼の言葉を述べました。



日頃の訓練の成果を披露
消防長査閲訓練を実施

10月21日、西臼杵広域行政事務組合消防本部(日高一昭消防長)において、消防長査閲訓練が行われました。

消防署員らは、実際に起こりうる案件について、それぞれの係で検討し訓練を重ねました。

この日は、第一係「車両事故からの救急活動」、第二係「改良応急梯子による火災救助」、第三係「高所からの斜めブリッジ救出」を展示。本番さながらの訓練を披露しました。



国民年金事業に対する功績
厚生労働大臣表彰伝達式

10月21日、平成4年度市町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰の伝達式が行われました。

この表彰は、国民年金事業に対する功績が顕著であり、他の模範と認められる市町村に行われるもので、本町は、昨年度の国民年金保険料の納付率が、93・8%で全国で17位。西日本で1位となったことから、この日、延岡年金事務所濱田美香所長より表彰の伝達がありました。



100歳のお誕生日
おめでとうございます

※お祝いの写真が撮れませんでしたので、ご家族より写真を提供していただきました。



橋本 覚さん (大正11年10月28日生)

橋本覚さんが、めでたく100歳を迎えられました。

覚さんは、6人兄弟の5番目(四男)として上田原で生まれました。尋常小学校を卒業後、親元で専業農業として従事され、19歳で妻・サツキさん(20年前に他界)と結婚。その年に起こった太平洋戦争により徴兵され、中国で終戦を迎えました。帰国後は、農業のほか、林業や建設業に従事。5人の子どもをもうけ、孫10人、ひ孫15人、玄孫1人に恵まれています。

健康の秘訣は「早寝・早起き・畑仕事」とのこと、肉や野菜を好み、庭造りを趣味とされていました。

覚さんは、現在入院しており、子の定さんは「コロナ禍で、面会ができないことから、早くコロナが収束し、対面で面会をしたい」と話していました。